

4月号
No.575

ラポート[raport]
相互の信頼関係、つながり、関係の意。

ラポート

大阪労働者福祉協議会

http://www.osakarofukukyo.or.jp/



▲第10回なにわ美術展の表彰式のあと、入賞者全員で記念撮影

今年の特徴は、出品者が増加しただけではなく、内容も充実、受賞作品を決めるのに長時間が必要となるなど、全体のレベルの高さを示した。作品の多くは洋画だが、日本画、版画での出品もあった。作品の中から、優秀賞(5点)・大阪府知事賞、大阪市長賞、大阪

全体のレベル高く
内容も技量も充実

今年は10回目という節目の美術展もあり、今まで以上に出品と参加鑑賞者を広げようと、広報活動の強化などを進め、初めての試みとしてB2ポスターを地下鉄「天満橋駅」をはじめ主要な地下鉄の駅に掲示(3月3日まで)するなどの工夫も試みた。

212作品 女性の健闘めだつ

大阪府知事賞に荒田穂さん

今回で10回目となる「なにわ美術展」が3月1~6日の日程で、天満橋の工

ライブアリーチで開かれた。

今年は前回の184作品

をはるかにしのぐ212点

が出品され、観賀者数も1

000人を超えた。

今年は10回目といふ節目の美術展であり、今まで以上に出品と参加鑑賞者を広げようと、広報活動の強化などを進め、初めての試みとしてB2ポスターを地下

鉄「天満橋駅」をはじめ主な地下鉄の駅に掲示(3月3日まで)するなどの工夫も試みた。

阪労福協会長賞、大阪労働協会理事長賞、なにわ美術賞に加え、奨励賞(15点)、女性の京女由里美奈の「梅と桜の間に

梅と桜の間に」と題された作

品、レトロな街角や祭りの

吐息を感じさせる作品、抽象画にも複数見るべきもの

があったことを報告。また

ぞれ自身で温めたモチーフにじっくり時間をかけて取り組んでいるのが分かる。

反面、いま直面している環

境問題等に眼を向けた作品

(この扱いは非常に難しい

が寂しい」との感想が示された。労働現場を前向きに

が減ってきていている環

境問題等に眼を向けた作品

(この扱いは非常に難しい

が寂しい」との感想が示された。労働現場を前向きに

が減ってきてている環

境問題等に眼を向けた作品

(この扱いは非常に難しい

が寂しい」との感想が示された。労働現場を前向きに

が寂しい」との感想が示された。労働現場を前向きに

第10回なにわ美術展

時間かけて丁寧に
さまざまな作り

梅と桜の間に

ランチたいむコンサート

梅と桜の間に

梅

担当者研修会	(～12日、新担当者の日)
◆8日(月)花まつり	◆1日(月)エーブリルフー
◆6日(土)新聞をヨム日	◆5日(金)清明
◆11日(木)中央労福協事務会	◆17日(水)中部労福協第1回幹事会
◆18日(木)発明の日、コメ	◆18日(木)横浜国際ホテル、メートル法公布記念日
◆19日(金)食育の日	◆19日(金)教育の日
◆20日(土)退職準備セミナー	◆20日(土)退職準備セミナ
◆21日(日)雨、郵政記念日	◆21日(日)王生狂言(～29)
◆22日(月)アースデー(地球の日)	◆22日(月)アースデー(地球の日)
◆23日(火)河内地域労福協幹事会、河内労福協代理教	◆23日(火)河内地域労福協幹事会、河内労福協代理教
◆24日(水)脱線事故から8年	◆24日(木)中央ブロッカ会議
◆25日(木)国学力テスト	◆25日(木)中央ブロッカ会議
◆26日(金)大阪労福協三役	◆26日(金)大阪労福協三役
◆27日(土)河内労福協会・理事会	◆27日(土)河内労福協会・理事会
◆28日(日)昭和の日、畠の日	◆28日(日)昭和の日、畠の日
◆29日(月)羊肉の日	◆29日(月)昭和の日、畠の日
◆30日(火)永井荷風忌、図書館記念日	◆30日(火)永井荷風忌、図書館記念日

4月

きょうは何の日?



▼エル・おおさかのギャラリーに212の力作が並んだ

「描く歓び」絵画で表現

【概評】第10回展は、出品総数212点と出品者が大幅に増えたとともに、内容も充実、受賞を決めるのに長時間を要した。受賞されなかつた作品の中にも優れたものが多かったことを報告しておく。なかでも女性の健闘が目立ち、力量も安定していく頗もしい限りである。

それぞれ自身で温めたモチーフをじっくり時間をかけて取り組んでいるのがよ

く分かる。反面、今直面している環境問題等に眼を向けていた作品(この扱い是非常に難しい)が減ってきていることが寂しい。

それでも原発を扱った石黒瑛治、荒田穂や南部信隆の諸作には注目した。労働現場を前向きに捉えた馬場幸邦もいい。リリシズムを自らの生活周辺に求めたり、旅行のなかに見出す人たちもいる。原昭弘、徳野千恵子の廻

【概評】第10回展は、出品総数212点と出品者が大幅に増えたとともに、内容も充実、受賞を決めるのに長時間を要した。受賞されなかつた作品の中にも優れたものが多かったことを報告しておく。なかでも女性の健闘が目立ち、力量も安定していく頗もしい限りである。

それぞれ自身で温めたモチーフをじっくり時間をかけて取り組んでいるのがよ

く分かる。反面、今直面している環境問題等に眼を向けていた作品(この扱い是非常に難しい)が減ってきていることが寂しい。

それでも原発を扱った石黒瑛治、荒田穂や南部信隆の諸作には注目した。労働現場を前向きに捉えた馬場幸邦もいい。リリシズムを自らの生活周辺に求めたり、旅行のなかに見出す人たちもいる。原昭弘、徳野千恵子の廻

【概評】第10回展は、出

品総数212点と出品者が

大幅に増えたとともに、内

容も充実、受賞を決めるの

に長時間を要した。受賞さ

れなかつた作品の中にも優

れたものが多かったことを

報告しておく。なかでも

女性の健闘が目立ち、力量

も安定していく頗もしい限

りである。

それぞれ自身で温めたモ

チーフをじっくり時間をか

けて取り組んでいるのがよ

く分かる。反面、今直面し

てている環境問題等に眼を向

けていた作品(この扱い是非常

に難しい)が減ってきて

いることが寂しい。

それでも原発を扱った石

黒瑛治、荒田穂や南部信隆

の諸作には注目した。労働

現場を前向きに捉えた馬場

幸邦もいい。リリシズムを

自らの生活周辺に求めたり、旅行のなかに見出す人

たちもいる。

【概評】第10回展は、出

品総数212点と出品者が

大幅に増えたとともに、内

容も充実、受賞を決めるの

に長時間を要した。受賞さ

れなかつた作品の中にも優

れたものが多かったことを

報告しておく。なかでも

女性の健闘が目立ち、力量

も安定していく頗もしい限

りである。

それぞれ自身で温めたモ

チーフをじっくり時間をか

けて取り組んでいるのがよ

く分かる。反面、今直面し

てている環境問題等に眼を向

けていた作品(この扱い是非常

に難しい)が減ってきて

いることが寂しい。

それでも原発を扱った石

黒瑛治、荒田穂や南部信隆

の諸作には注目した。労働

現場を前向きに捉えた馬場

幸邦もいい。リリシズムを

自らの生活周辺に求めたり、旅行のなかに見出す人

たちもいる。

【概評】第10回展は、出

品総数212点と出品者が

大幅に増えたとともに、内

容も充実、受賞を決めるの

に長時間を要した。受賞さ

れなかつた作品の中にも優

れたものが多かったことを

報告しておく。なかでも

女性の健闘が目立ち、力量

も安定していく頗もしい限

りである。

それぞれ自身で温めたモ

チーフをじっくり時間をか

けて取り組んでいるのがよ

く分かる。反面、今直面し

てている環境問題等に眼を向

けていた作品(この扱い是非常

に難しい)が減ってきて

いることが寂しい。

それでも原発を扱った石

黒瑛治、荒田穂や南部信隆

の諸作には注目した。労働

現場を前向きに捉えた馬場幸邦もいい。リリシズムを

自らの生活周辺に求めたり、旅行のなかに見出す人

たちもいる。

【概評】第10回展は、出

品総数212点と出品者が

大幅に増えたとともに、内

容も充実、受賞を決めるの

に長時間を要した。受賞さ

れなかつた作品の中にも優

れたものが多かったことを

報告しておく。なかでも

女性の健闘が目立ち、力量

も安定していく頗もしい限

りである。

それぞれ自身で温めたモ

チーフをじっくり時間をか

けて取り組んでいるのがよ

く分かる。反面、今直面し

ていている環境問題等に眼を向

けていた作品(この扱い是非常

に難しい)が減ってきて

いることが寂しい。

それでも原発を扱った石

黒瑛治、荒田穂や南部信隆

の諸作には注目した。労働

現場を前向きに捉えた馬場幸邦もいい。リリシズムを

自らの生活周辺に求めたり、旅行のなかに見出す人

たちもいる。

【概評】第10回展は、出

品総数212点と出品者が

大幅に増えたとともに、内

容も充実、受賞を決めるの

に長時間を要した。受賞さ

れなかつた作品の中にも優

れたものが多かったことを

報告しておく。なかでも

女性の健闘が目立ち、力量

も安定していく頗もしい限

りである。

それぞれ自身で温めたモ

チーフをじっくり時間をか

けて取り組んでいるのがよ

く分かる。反面、今直面し

ていている環境問題等に眼を向

けていた作品(この扱い是非常

に難しい)が減ってきて

いることが寂しい。

それでも原発を扱った石

黒瑛治、荒田穂や南部信隆

の諸作には注目した。労働

現場を前向きに捉えた馬場幸邦もいい。リリシズムを

自らの生活周辺に求めたり、旅行のなかに見出す人

たちもいる。

【概評】第10回展は、出

品総数212点と出品者が

大幅に増えたとともに、